



阿波高新聞

7月号
186号

編集
新聞・文芸部



新聞・文芸部員大募集!

私たちと一緒に阿波高新聞やオリジナル部誌を作ってみませんか。文章やイラストを書くのが好きな人、ぜひ新聞・文芸部に入部してください。待っています!
また、阿波高新聞で取り上げてほしい記事等がありましたら、顧問の佐藤先生までお知らせください。

さて、期末考査も終わり、いよいよインターハイが近づいてきました。そこで、今月号はインターハイに出場する弓道部へのインタビューと、「梅雨」がほとんどなかった今年、毎日暑い中頑張っている「あじさい」の特集です。

◎弓道部へのインタビュー

6月の18日、19日に高知県で行われた四国総体に出場した女子弓道部にインタビューをしました。

Q 四国総体に出場しての感想をそれぞれ聞かせてください。

「四国総体では自分の課題を再確認することができました。全国大会では同じ失敗をしないよう、残り少ない日々練習していきたいです。」

「四国総体の結果は満足のいくものではありませんでしたが、多くの経験を得ることができました。課題と向き合い、次に生かそうと思います。」

「良い緊張感の中、試合に挑めましたが、日々の練習が生かせませんでした。インターハイではベストを尽くせるよう練習に励みます。」

Q 8月6日から9日、徳島市のとくぎんトモニアリーナで行われる、インターハイへの出場も決まっていますね。インターハイへの意気込みはどうでしょうか。

「的中にこだわらず、納得のいく射をすることを目標に頑張ります。」

「自分が納得できる試合にします。3/4本を確実にできるように、日々の練習を丁寧に積み重ねたいです。」

「全部の試合で3/4本以上中て、一本目から確実に的中でたいです。」

弓道部の皆さん、インタビューに答えていただき、ありがとうございました。インターハイ、頑張ってください!
また、総体に出場したみなさん、お疲れさまでした。今後の活躍も期待しています!

梅雨の花と言えば「あじさい」ですが、今年ほど、あじさいが咲きづらい年はありませんね。梅雨も開けてしまいました。あじさいについてまとめてみましたので、ぜひ一読ください。

○あじさいの花言葉

あじさいの花言葉はいろいろあります。

- ・和気あいあい、家族、団らん
- ・小さな花が集まって咲いているように見えることに由来します。
- ・移り気、浮気
- ・：様々な色があることや、咲いている間に色が変わることに由来します。

*花の色によって異なる花言葉を持っているので、ぜひ一度調べてみてください!

○あじさいの豆知識

花びらに見える部分は実はがく。中心部分にあるのが花です。

酸性の土壌では青系、アルカリ性の土壌では赤系になります。

日本は弱酸性の土壌が多いため青系が主流となっており、ヨーロッパはアルカリ性の土壌が多いため赤系が主流となっています。

こんなにかわいい見た目ですが、実は毒があります。

『万葉集』にも登場しています。しかし、たったの二首です。一つは伴家持が詠んだ歌です。



言問はぬ木すら紫陽花諸弟らが
練りのむらとにあざむかえけり
大伴家持

物を言わない紫陽花のような木である私でさえも、「あなたが私を恋している」という諸弟の言葉に、うれしくなつてすっかりだまされてしまったのですよ。

紫陽花の八重咲くごとく八つ代にを
いませ我が背子見つつ俣はむ
橘諸兄

紫陽花が八重に咲くように、あなたさまも八代も末永くお元気でられるようにこの花を見ながらお祈り申し上げます。

夏休みまであと少し、まだまだコロナ対策も欠かせませんが、今年は何か夏らしい体験ができるといいですね。例年よりも暑さが厳しいので、熱中症対策もお忘れなく!

今月の言葉

才能という熱い原石は磨かなければ
自己満足のゴミとかず

ブルーロック 絵心



